LIXILにおけるアルミリサイクルとサプライヤーエンゲージメントによるScope3削減の取り組み

2027年7月22日

株式会社LIXIL
環境推進統括部 環境推進部 部長　峯　弘

Confidential

Copyright © LIXIL Corporation. All rights reserved.

CONTENTS

1. LIXILについて

2. アルミリサイクルを通じた脱炭素の取り組み

3. サプライヤーエンゲージメントの取り組み

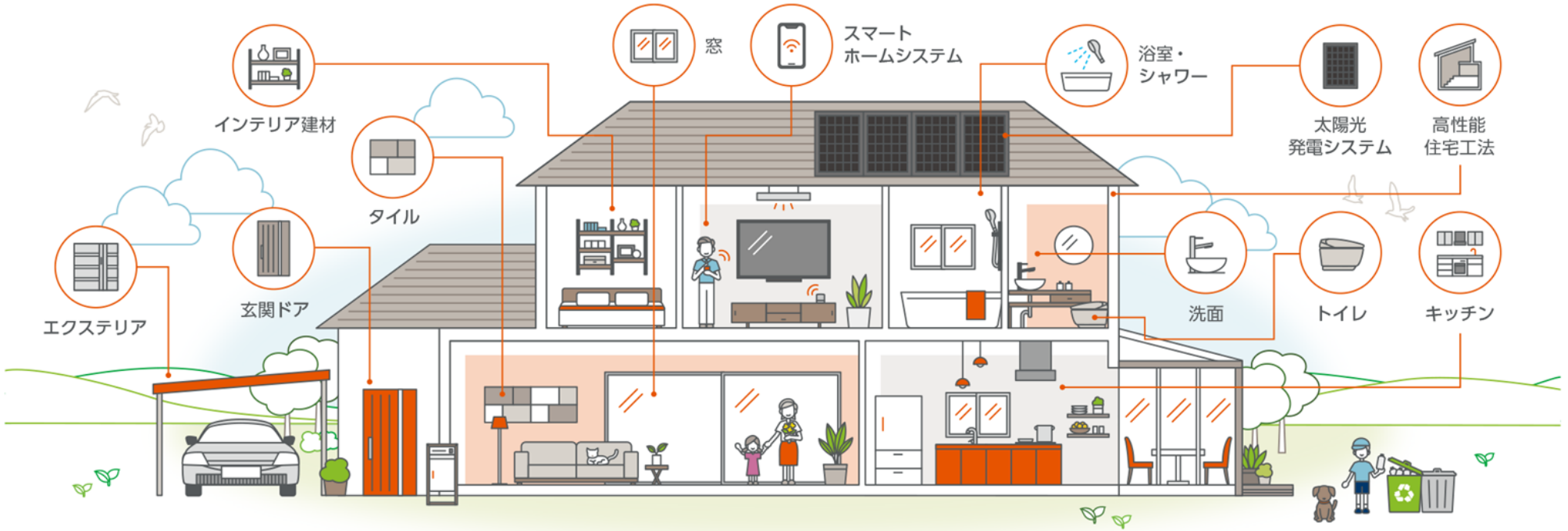
4. 最後に

LIXILについて

Copyright © LIXIL Corporation. All rights reserved.

LIXILについて

➢ LIXILは、日本のものづくりの伝統を礎に、世界をリードする技術やイノベーションで、日々の暮らしの課題を解決する高品質な製品をグローバルに提供しています。



従業員数
約48,000人

10億人以上の
生活を支える

世界
150ヵ国以上で
事業を展開

100年以上の
ブランドの歴史

※2026年6月現在

LIXILの基幹事業



ウォーターテクノロジー

INAX、GROHE、American Standardといったブランドを通じて、使いやすさと美しさを追求したトイレ、お風呂、水栓、シャワーなどの水まわり製品と表現豊かなタイルを提供しています。



ハウジングテクノロジー

TOSTEM、EXSIORといったブランドを通して、窓や玄関ドア、エクステリア製品などを提供しています。



リビング

キッチン、洗面化粧台、インテリア建材を軸に、LIXILの総合力を活かして、暮らしと空間に調和する統合ソリューションを提供しています。

LIXILの約束

LIXILは、今日と未来の世界にインパクト（良い影響）を生み出す取り組みと
革新的な製品やサービスを通じて、
世界中の誰もが願う、豊かで快適な住まいの実現 を目指しています。

3つの優先取り組み分野

グローバルな衛生課題の解決
すべての人に衛生を



水の保全と環境保護
CO_2ゼロと循環型の暮らしを



多様性の尊重
すべての人にインクルージョンを



LIXILの環境ビジョン

LIXIL環境ビジョン2050



ZERO CARBON AND
CIRCULAR LIVING

LIXILは、2050年までに、

事業プロセスと製品・サービスを通じて、

CO_2の排出を実質ゼロにし、

水の恩恵と限りある資源を次世代につなぐ

リーディングカンパニーを目指す

実現に向けた3つの領域

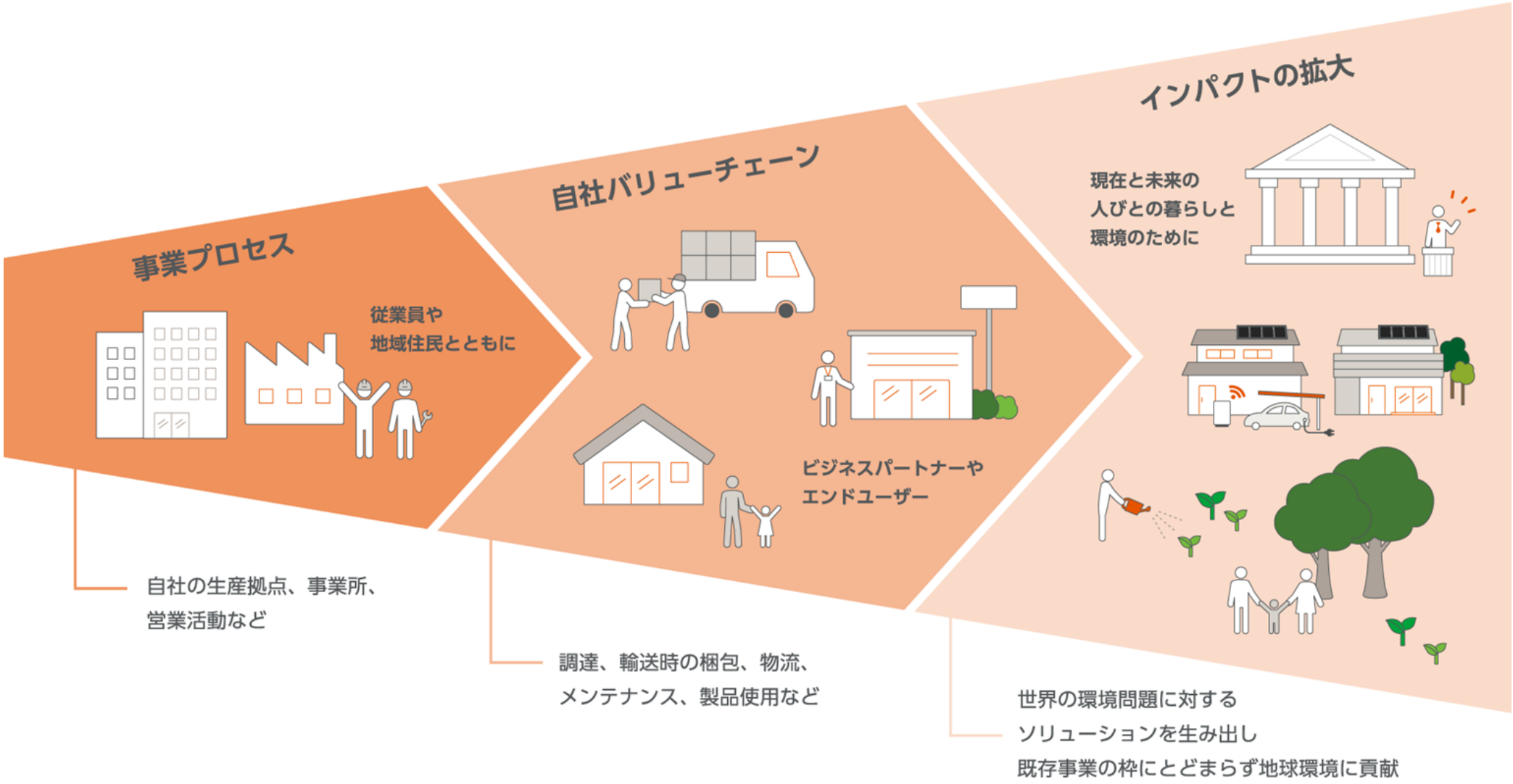
気候変動対策
事業プロセスと製品・サービスによる温室効果ガスの排出を実質ゼロにする

水の持続可能性の追求
節水や水の循環利用、浄水技術などを通じて、水の環境価値を創造する

資源の循環利用の促進
循環型社会への変革に貢献し、限りある資源を未来につなぐ

ビジョン実現に向けた戦略的なアプローチ

➢ 事業プロセス、自社バリューチェーン、インパクト拡大 の3つのフェースで取り組む



環境中期目標（2031年3月期）

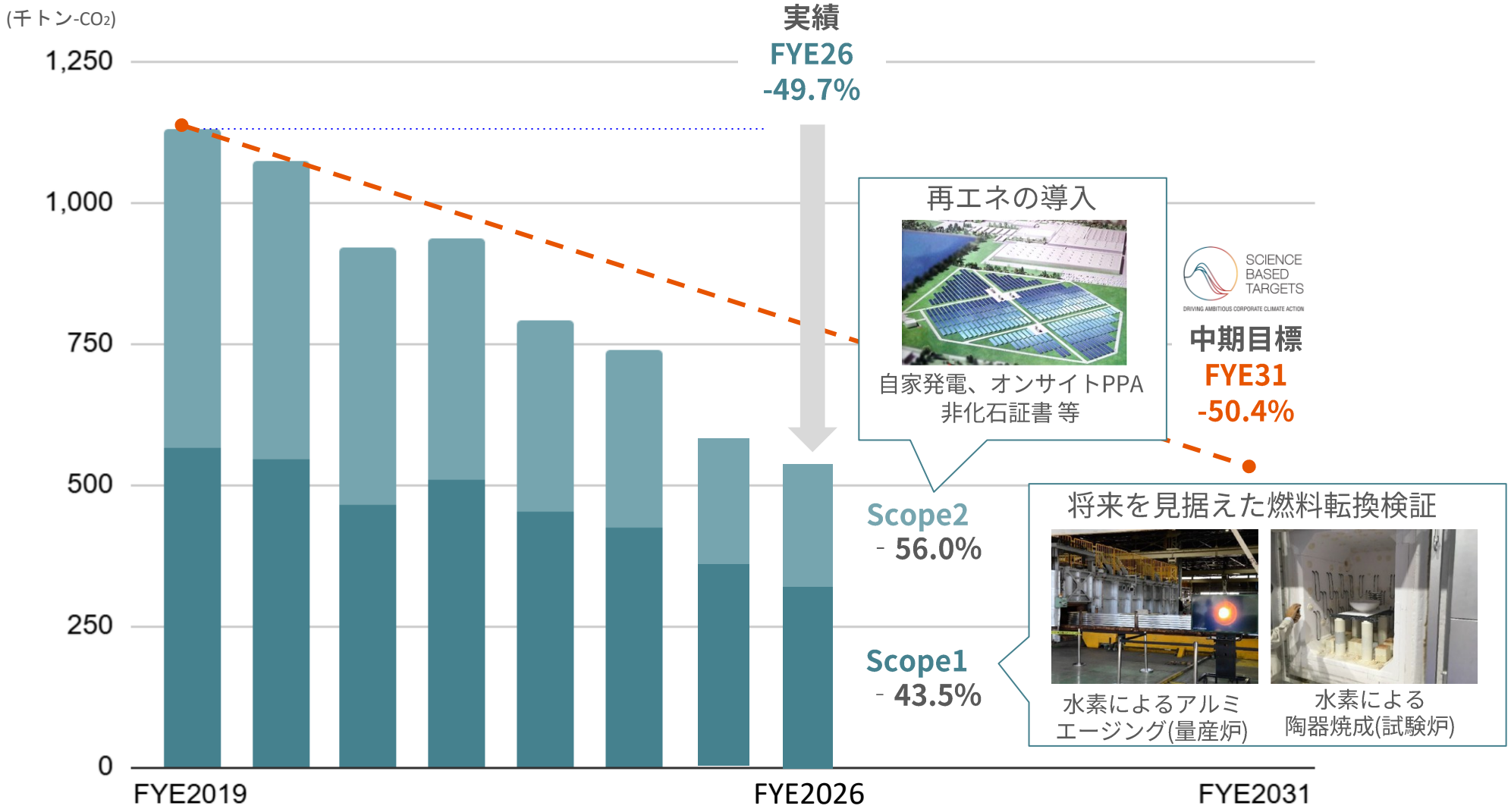
➢ 3つの重点領域の主要項目について中期目標を設定し、環境ビジョンの達成に向けて取り組みを加速

	事業プロセス	自社バリューチェーン	インパクトの拡大
気候変動対策	Scope 1&2 CO_2 排出量 −50.4%※1	Scope 3 CO_2 排出量 −30%※1 グリーンアルミ調達による CO_2 排出量の削減※2	節湯水栓・節水型トイレの販売構成比 100%（日本） 新築戸建て住宅向け高性能窓の販売構成比 100%（日本）
水の持続可能性の追求	水使用効率向上 +20%※1 水不足拠点での水使用量削減	節水製品による水使用削減貢献量 年間 20億m^3	安全性を高めたおいしい水の提供
資源の循環利用の促進	廃棄物などのリサイクル率 95%	リサイクル材／再生可能素材使用率の向上 リサイクルアルミの使用比率 100% 使い捨てプラスチックパッケージの削減 資源効率性の高い製品の拡充 再製品化への循環システムの構築	再資源化が困難な廃プラスチックの削減

※1 2019年3月期比　※2 リサイクルアルミを含む　その他、すべて2031年3月期を目標年度とする

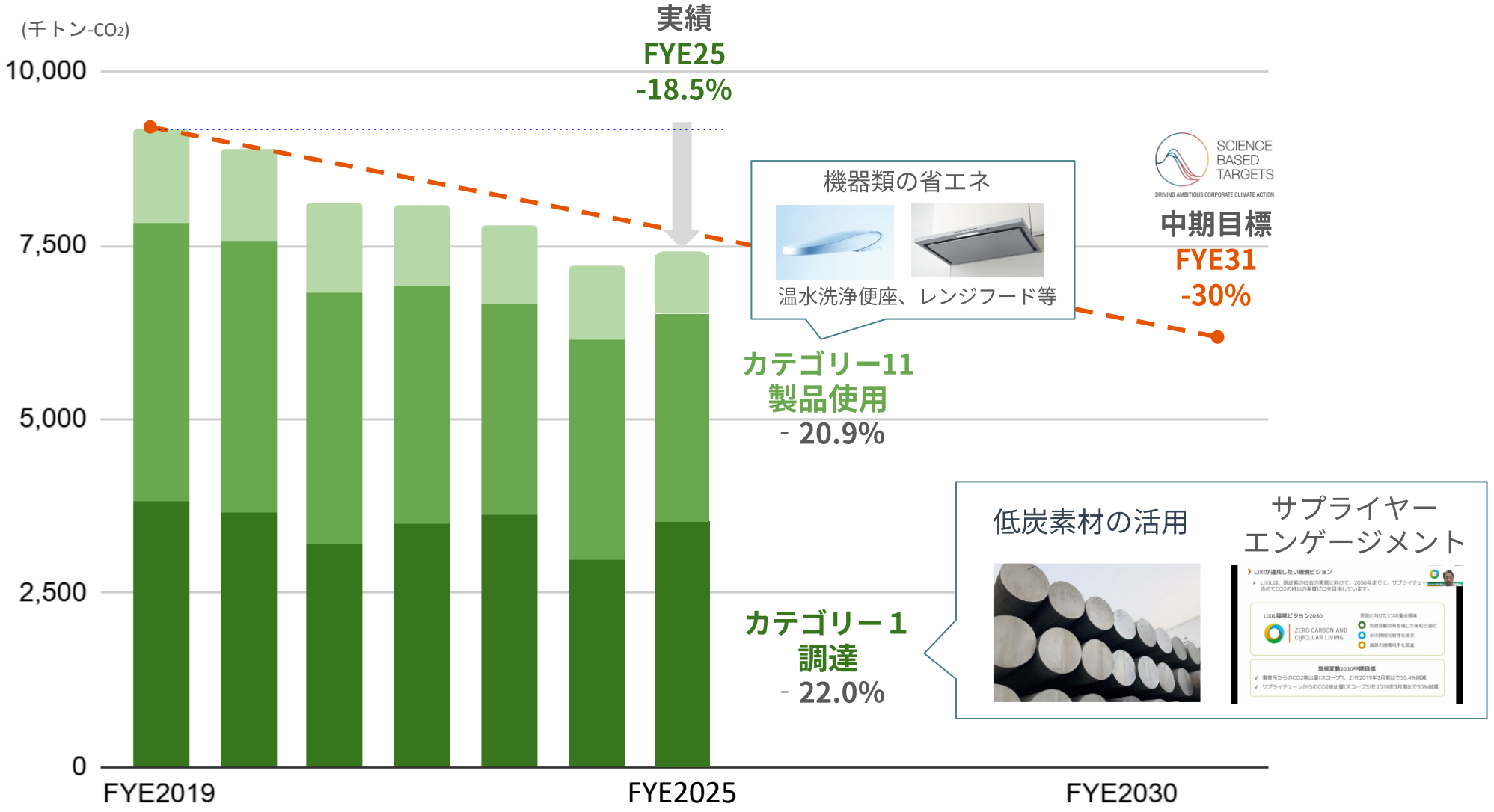
事業プロセスのCO2排出量(Scope 1 & 2)削減

➢ 目標を大幅に上回るペースで削減が進んでいる



自社バリューチェーンのCO2排出量(Scope 3)削減

➢ 目標に対して順調に削減が進んでいる



Scope3 カテゴリー１ 削減の方策

➢ 低炭素材（リサイクルアルミ）への切替え、サプライヤーエンゲージメントに取り組む

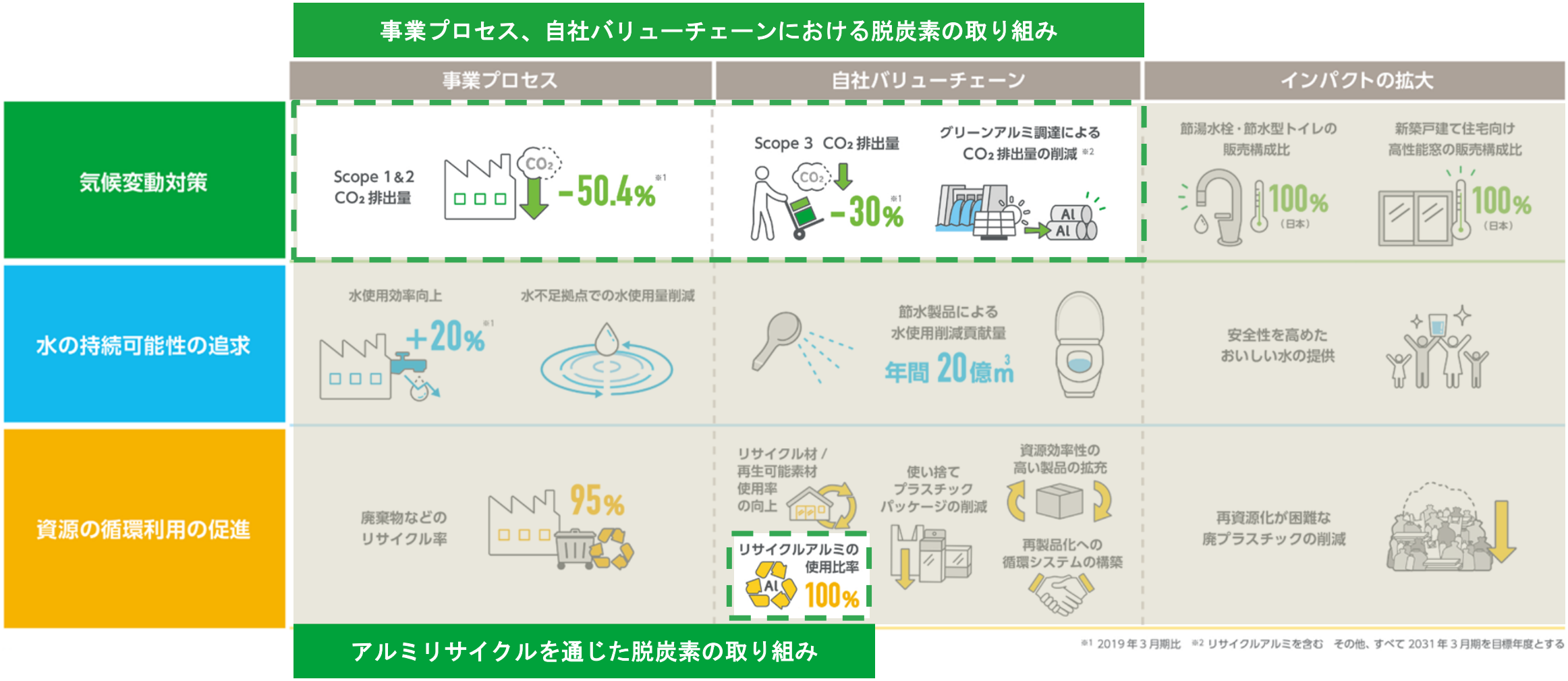
排出量の計算方法				方策	活動事例
原材料	物量ベース （重量、㎡ 等）	×	IDEA	低炭素材への切替	● リサイクルアルミの活用 ● 鋼材を高炉材から電炉材へ切替え
部品・部材	金額ベース （百万円）	×	産業連関表 DB	サプライヤーエンゲージメント	● サプライヤーのScope1,2&3を１次データとして反映

アルミリサイクルを通じた脱炭素の取り組み

Copyright © LIXIL Corporation. All rights reserved.

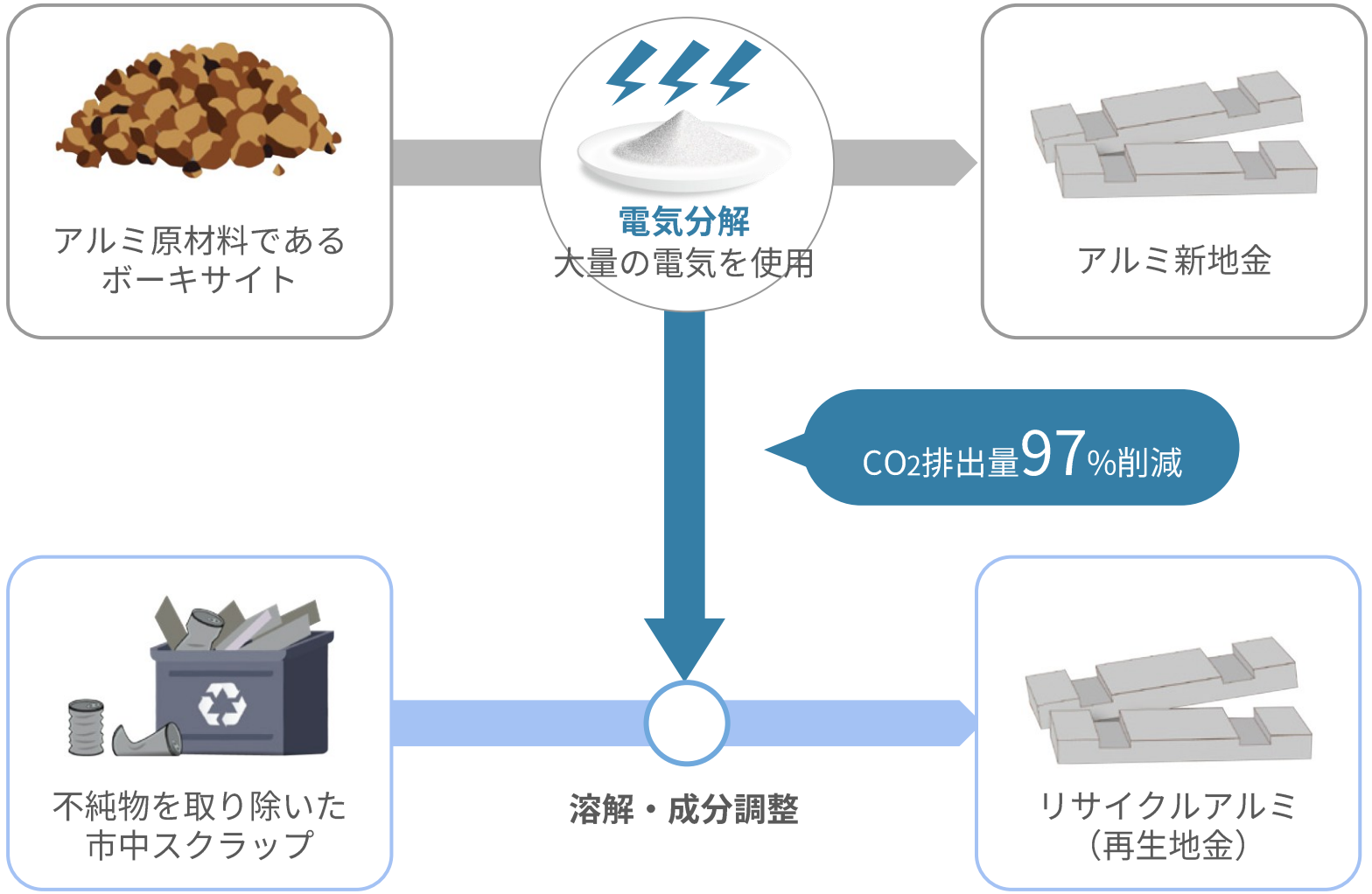
アルミリサイクルの位置づけ

➢ アルミのリサイクルは気候変動対策、資源の有効利用の促進を実現する重要テーマ



アルミリサイクルによる低炭素化

➢ リサイクルアルミを活用することでCO_2排出量を大幅に削減することが可能



循環型低炭素アルミ形材「PremiAL」の開発

➢ リサイクルアルミを活用したPremiALの展開することで、建物の建設時のCO_2排出削減にも貢献

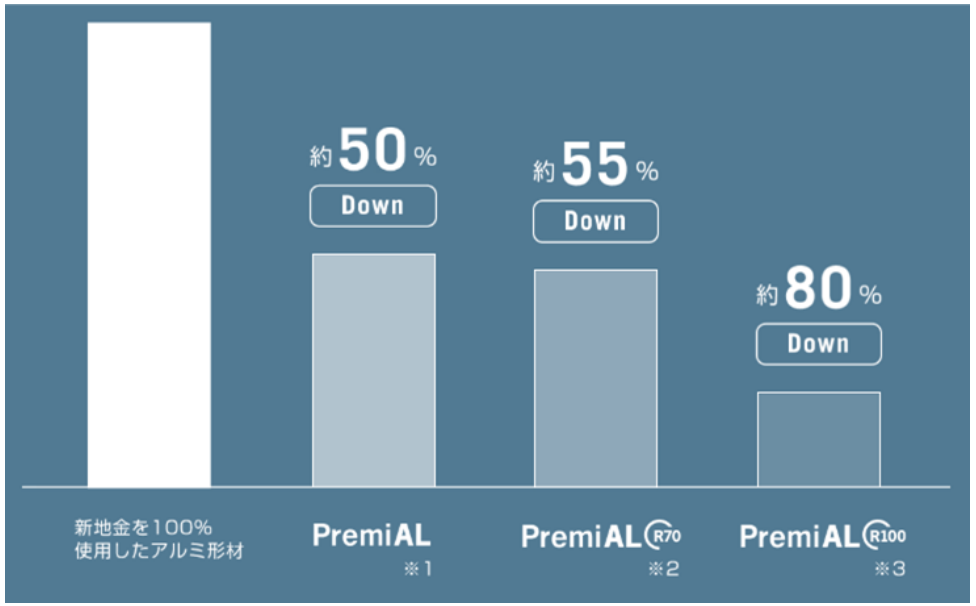


■ ISO14025に準拠する「SuMPO EPD」を取得

SuMPO EPD JAPAN VERIFIED

SuMPO-EPD-2508-1-1
JR-AD-22001E-B
JR-AD-23001E-B

■ **PremiAL** シリーズのCO_2排出削減効果



※1 PremiALの原材料（LIXIL製造の6063材・異種合金・購入ビレット）のうち、LIXIL製造分の6063材についてリサイクルアルミを60%以上使用。異種合金・購入ビレットは算出対象外
※2 LIXIL製造分の6063材についてリサイクルアルミを70%使用
※3 LIXIL製造分の6063材についてリサイクルアルミを100%使用

■ **PremiAL** シリーズの展開状況

2025年9月時点

	標準品	受注生産	
	NEW PremiAL	PremiAL R70	PremiAL R100
アルミ形材製造・組立加工までのCO_2排出量（アルミ1kg当たり） ※環境ラベルプログラム「SuMPO EPD」取得	7.1kg-CO_2eq ※1	6.8kg-CO_2eq ※2	2.9kg-CO_2eq ※2
CO_2排出量削減率（新地金100%アルミ形材比） ※社内試算	約50% 削減	約55% 削減	約80% 削減
PremiALが展開されるLIXIL製品	全製品対応	一部対象品	一部対象品
リサイクルアルミ使用比率	60% ※3	70% ※4	100% ※4
証明書（リサイクルアルミ使用比率）	なし	あり	あり

※1 LIXIL製造分の6063材・異種合金・購入ビレットを含めて算出
※2 LIXIL製造分の6063材が対象
※3 原材料（LIXIL製造の6063材・異種合金・購入ビレット）のうち、LIXIL製造分の6063材についてリサイクルアルミを60%以上使用。異種合金・購入ビレットは算出対象外
※4 原材料（LIXIL製造6063材）についてのリサイクルアルミ使用比率

LIXILが目指すアルミのクローズドループリサイクル

➢ 使用済みの自社製品から回収したアルミをリサイクルして新たな製品をつくるクローズドループを検討

使用済み製品を資材とする水平リサイクルのエコシステムを検討

資材調達





グリーンアルミの調達

市中のアルミスクラップ活用

鋳造工程



製造過程で生じるアルミ端材リサイクル100%

アルミ溶解時に「鉱さい」が発生

再資源化しタイル原材料として使用

押出工程





表面処理工程



着色時に「水酸化アルミスラッジ」が発生

一部廃棄物になっていたものを有価物化

検査・出荷

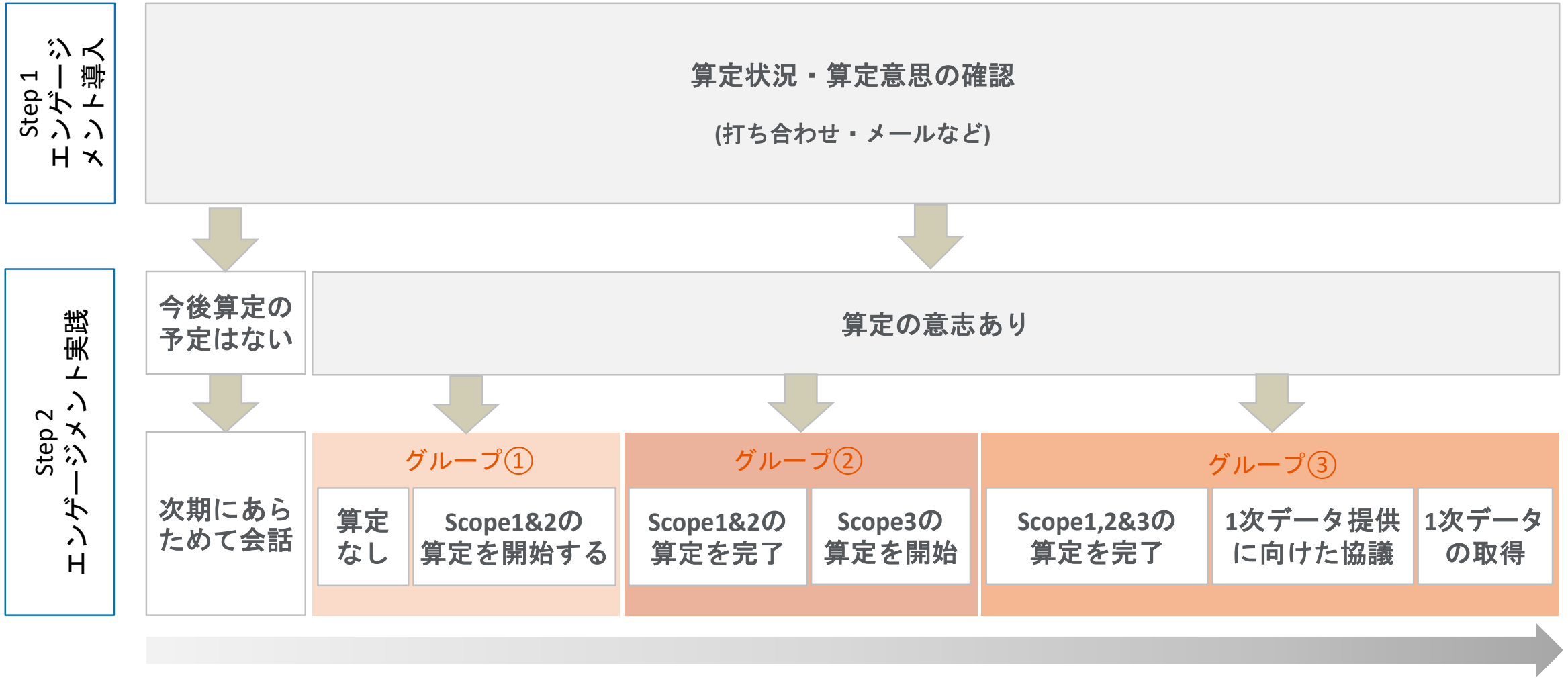


サプライヤーエンゲージメントの取り組み

Copyright © LIXIL Corporation. All rights reserved.

サプライヤーエンゲージメントのステップ

➢ サプライヤーのCO2排出量算定レベルを把握し、レベルに応じたエンゲージメント活動を実行



取り組みの時系列

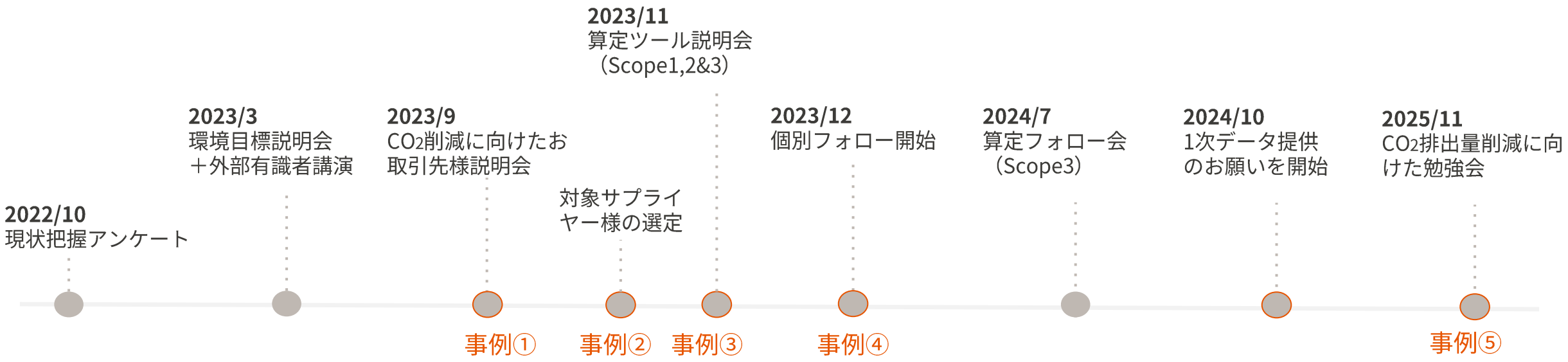
導入

LIXILの環境ビジョンや目標の共有や、外部有識者による講演を行い、サプライチェーンにおける低炭素を進める意志を、取引先に伝える

算定支援

算定ツールを用意し、Scope1,2&3の算定方法の説明会を行うとともに、重点サプライヤーに対して、個別フォローを実施

削減支援



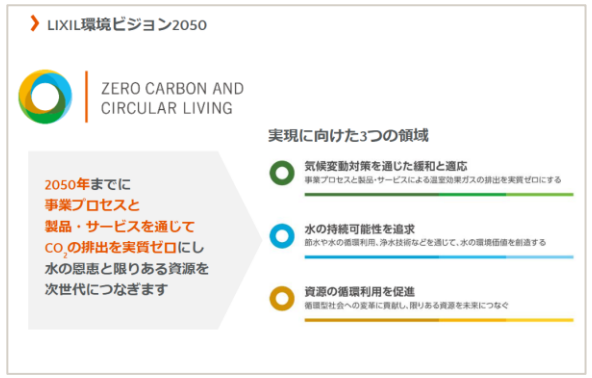
1次データ反映

Scope1,2＆Scope3(Cat1~8)までの算定を完了しているサプライヤーに対して、個別に1次データ提供を依頼

導入）CO_2排出削減に向けたお取引先様説明会_2023年9月

➢ サプライヤーエンゲージメントの実施に向け、お取引先様説明会を開催

LIXIL



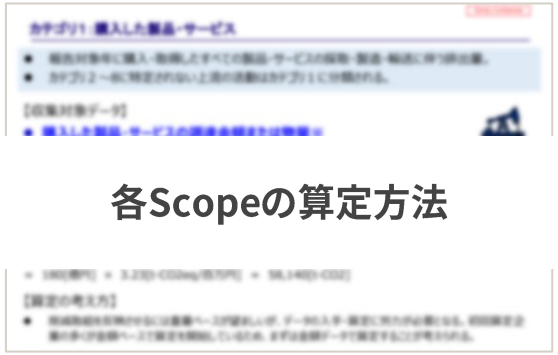




社外有識者（講師）



国内外の動向を踏まえた
排出量算定の必要性

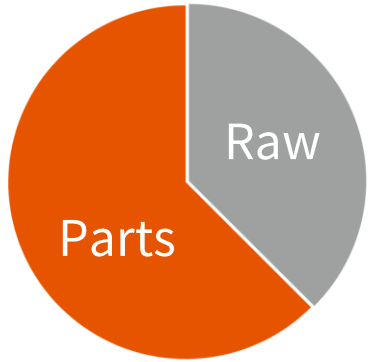


各Scopeの算定方法

算定支援）対象サプライヤー様の選定

➢ Scope3 カテゴリー1 CO_2排出量の上位80%を占める国内サプライヤー約300社を対象に選定

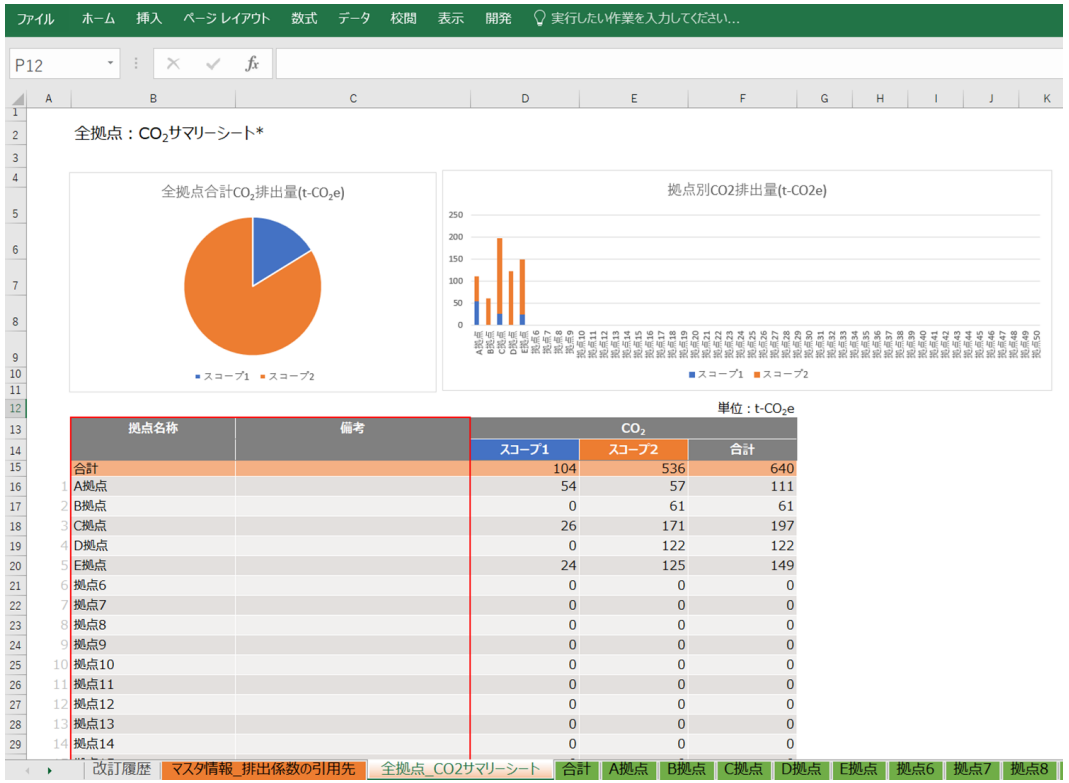
	活動量		排出原単位		CO_2排出量
① 原材料	物量ベース （重量、㎡ 等）	×	IDEA	=	Scope3 カテゴリー1
② 部品・部材	金額ベース （百万円）	×	産業連関表DB	=	



算定支援）算定ツール説明会_2023年11月

➢ 自社で作成したScope1 , 2 & 3算定ツールを用いてカテゴリーごとに算定方法とツールの使い方を説明

算定ツール(Excel) を事前配布



カテゴリーごとに算定方法とツールの使い方をご説明

4-3. STEP3：各カテゴリで必要な数値・排出原単位を入力

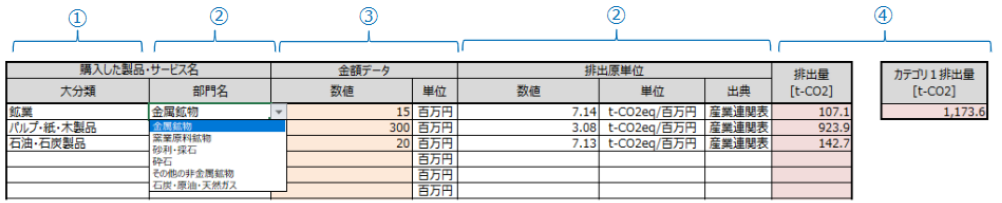
カテゴリ１．購入した製品・サービス

- 自社が購入・取得した製品またはサービスの金額データに製品またはサービスごとの資源採取段階から製造段階までの排出原単位をかけて算定する
- 係数は産業連関表を使用

記入方法

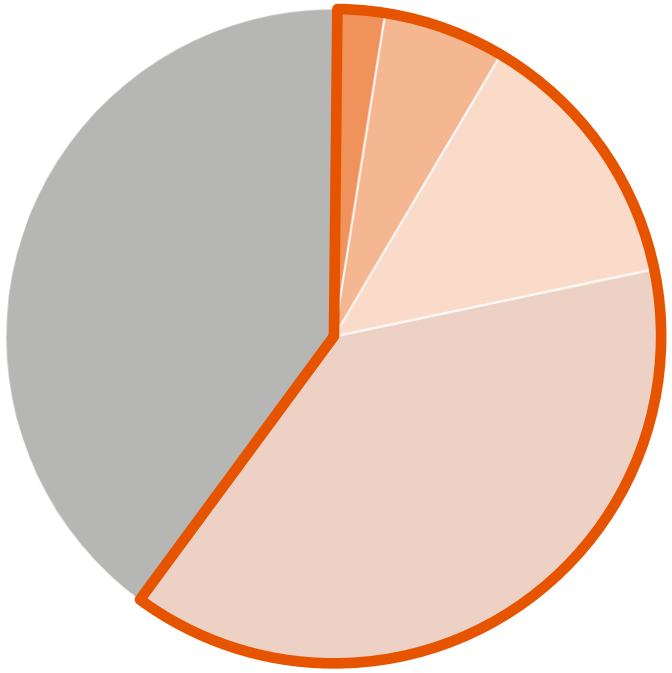
①プルダウンで購入した製品のカテゴリをご選択ください。
②プルダウンで購入した製品に当てはまるものをご選択ください。
　排出原単位※が自動で反映されます。
③購入品目ごとの購入金額を入力してください。単位は百万円です。
④購入品目ごとのCO2排出量と全体のCO2排出量が表示されます。

※大分類・部門名・排出原単位は環境省が公開している「排出原単位データベース(Ver3.3)」より引用 しており、算定シートの「5産業連関表DB」のタブからもご覧いただけます。



算定支援）個別フォロー_2023年12月～現在

➢ アンケートで“直近1年間で算定する予定あり”と回答のあったサプライヤーと個別面談を実施



算定の予定あり
60%
(約240社)

- ○ 排出量や取引状況をもとに優先順位付け
- ○ 年間 60～70社
- ○ 基本はオンラインで開催

- すでにScope1,2&3の算定を完了している
- Scope1&2とScope3(カテゴリー1~15)の算定を完了する
- Scope1&2とScope3上流(カテゴリー1~8)の算定を完了する
- Scope1&2を算定完了する
- 直近1年間は算定の予定はない

削減支援）CO2排出量削減に向けた勉強会 _2025年11月

➢ 排出量の算定を開始しているサプライヤーを対象に、排出量削減に向けた勉強会を実施

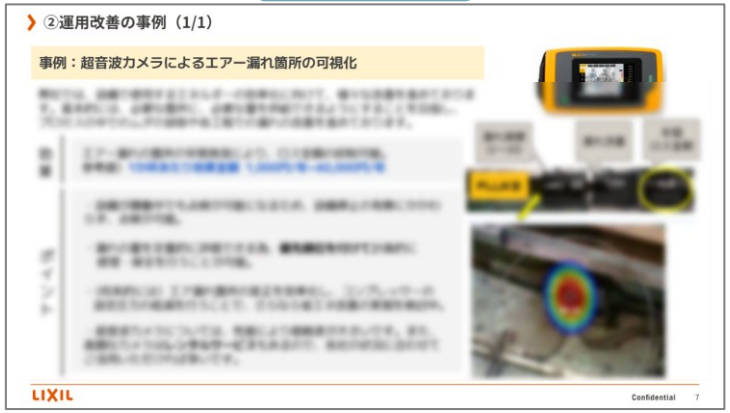
第1部：外部環境と算定の実践

- 外部環境変化によるリスクと事業機会
- Scope 3算定手法（Cat.1, 4補足）
- 削減ロードマップ策定と他社事例

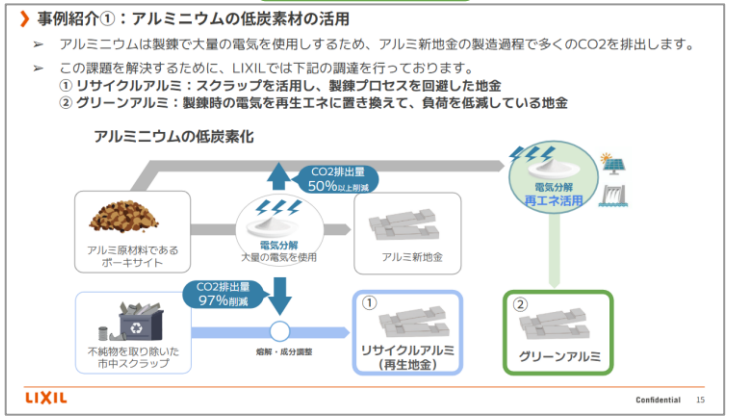
第2部：LIXILの状況と協働提案

- LIXIL活動状況（1次データの活用状況など）
- LIXILの省エネ改善事例・低炭素材料紹介
- 今後の協働のお願い（1次データ、目標設定）

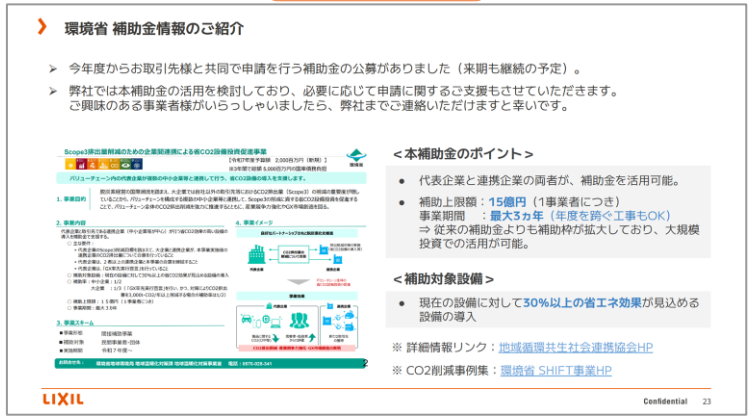
Scope1&2



Scope3

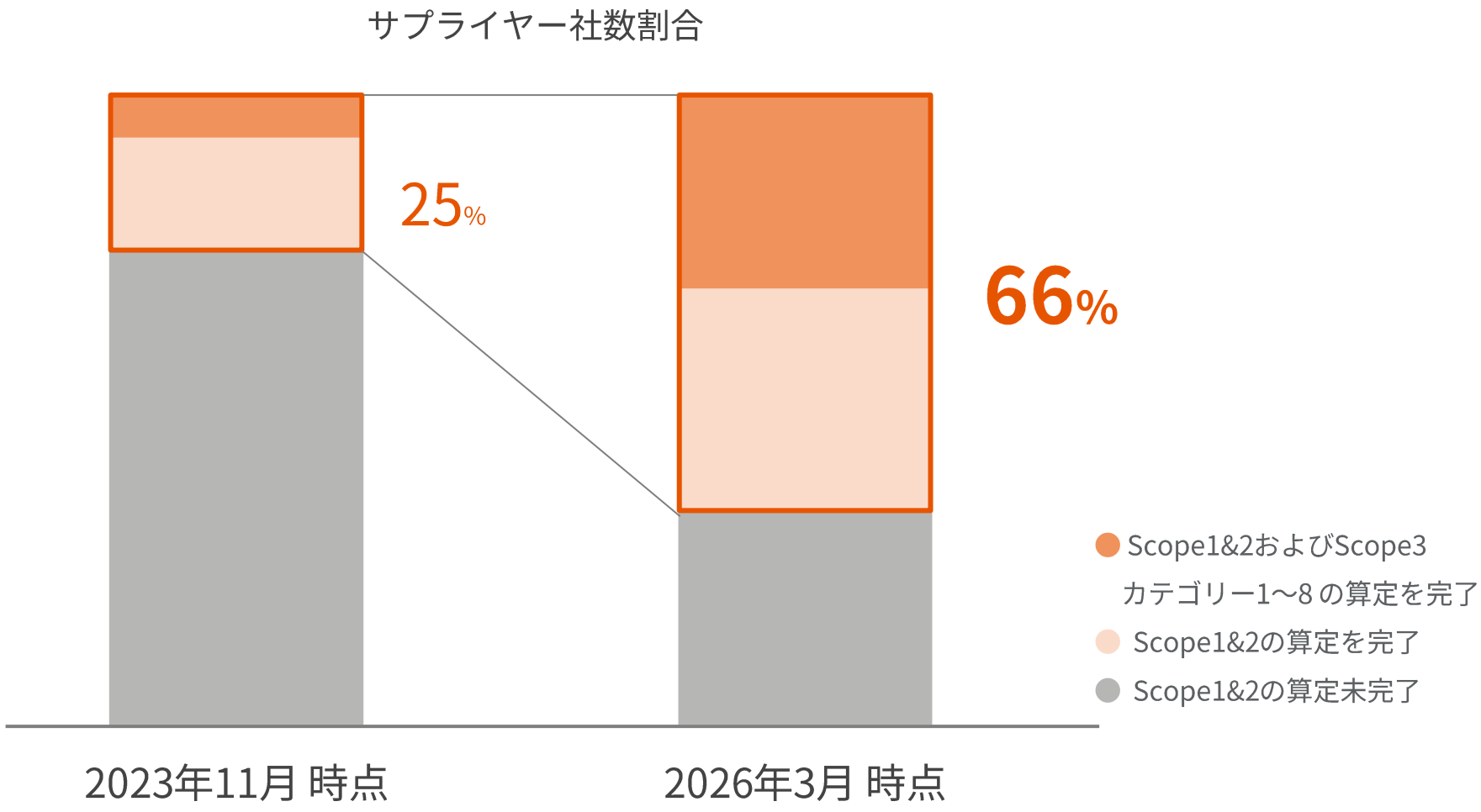


補助金



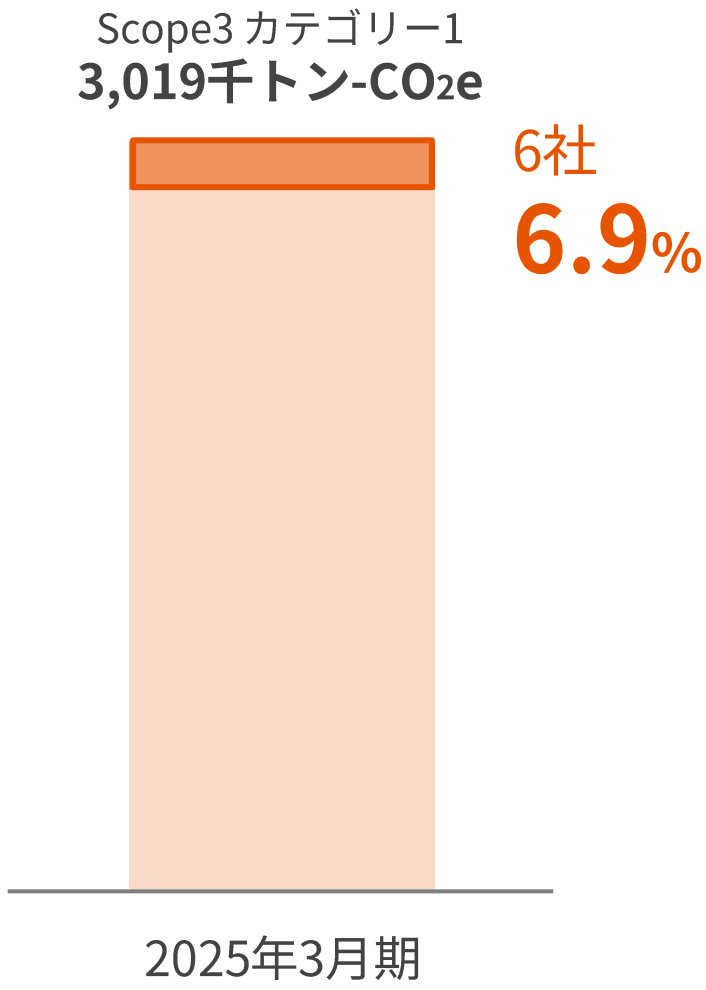
エンゲージメント対象サプライヤーの算定状況

➢ サプライヤーにおける排出量の算定レベルは着実に向上



1次データの収集と反映

➢2025年3月期から一部のサプライヤーのCO_2排出量 1次データを反映

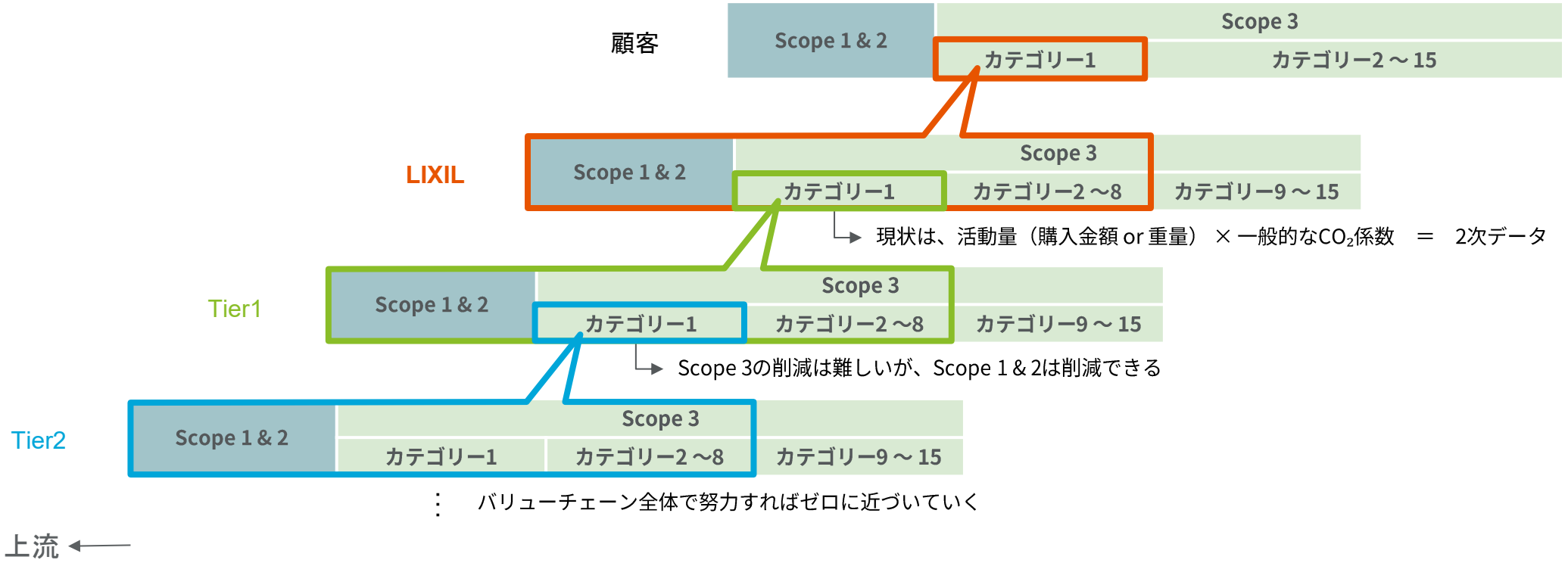


最後に

Copyright © LIXIL Corporation. All rights reserved.

バリューチェーン全体で取り組む重要性

- 企業のScope 3の一部は、上流企業における Scope 1 , 2 & 3 の一部であり、Scope3の削減に向けては、バリューチェーン全体が連携して取り組んでいくことが重要です。
- LIXILでは引き続き、サプライヤーに伴走したエンゲージメント活動に取り組んでまいります。



ご静聴ありがとうございました。

LIXIL